



不撓不屈の人

ふとうふくつひのひと

塙保己一没後200周年記念企画『不撓不屈の人』。今回は連載「塙保己一の生涯」の第二話と、特別展示「検校塙保己一奉納の實相寺の燭台」を中心にお知らせします。

塙保己一の生涯

第二話 当道座入門

江戸へ出る

辰之助（寅之助から改名）は、十五歳の時に絹商人に連れられ、中山道を通って江戸へ出たといいます。江戸では、当道座（盲人一座）の検校雨富須賀一の弟子となりました。辰之助は当道座に入門し、名前を千弥と変えました。当道座では盲人の専業であった音曲・あんま・鍼灸などを習い生計を立てることになります。

つらい修行

千弥にとって、あんまや針の修業はつらいものでした。元々手先が不器用だったため、なかなか上達しませんでした。

さらに千弥自身は本を読んでもらうのが大好きで、そちらに気が向いてしまい、修行に集中できなかったようです。十六歳のころからは、師匠の雨富検校は利発な千弥をみて歌学者の萩原宗固の弟子にしました。さらに当時著名だった学問の先生のもとに通わせてくれました。

千弥は十八歳になって当道座の衆分という位につき、この時、名を保木野一に変えています。しかしながら技術の習得は進んでいませんでした。中でも音曲は苦手で、何も覚えられなかったといえます。

鍼については、かなり上達したと書かれたものもあります。保木野一は将来に悲観し、師匠の雨富検校に自分の心の内を打ち明け、学問がしたいと訴えました。雨富検校は、『自分が教えられることはす

べて試したが駄目だった。そうならば「賊と博」（盗賊や博打打ち）以外ならどのような仕事に就いてもよい。好きなことをやりなさい。今から三年間、お前を養おう。もし芽が出ないようなら国元に返す」と、告げたのでした。保木野一は師匠の言葉を肝に銘じ、必死に勉学に励んで、ついには約束通りその名が世間に知れるまでに学問が上達しました。

江戸城のお堀に身を投げる？

保木野一は当道座の修行に失敗し自殺未遂をしたともいわれます。保己一の修業時代の大きな転機として語られているところですが、真偽は不明ですが、とても大きな出来事です。自分からそんなことがあったかもしれません。

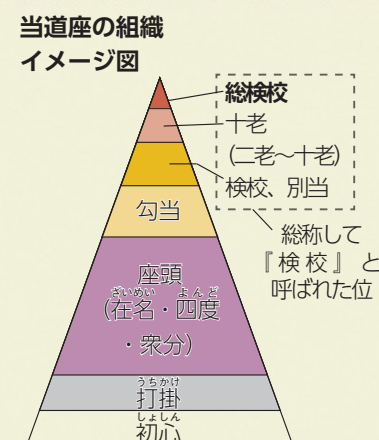
ミニ知識②

当道座ってなに？

辰之助が入門した当道座は、目の不自由な人たちの相互扶助の組織でした。大変厳しい階級社会で、全部で七十三もの階級があり、最高位が総検校でした（左図参照）。

通常は、ほとんどが座頭で終わってしまい、ほんの一握りの人が勾当や検校になることができました。

保己一は本人の努力と、多くの人の支え、援助により、ついには最高位の総検校まで上り詰めたのです。



特別展示

検校塙保己一奉納の

實相寺の燭台

塙保己一が生まれた荻野家の菩提寺である實相寺（児玉町児玉）には、寛政十二年（一八〇〇年）、当時検校となっていた保己一が奉納した燭台（ろうそく立て）が残されています。

若くして江戸に出て、日々の修行や出世をしていくために多忙であった保己一は、郷里である保木野村に帰ることができなかったため、実家のこと、ご先祖様のこと、友人のこと等を心配していました。

そうしたことから、両親の菩提を弔うため、この燭台に両親の戒

名を刻み菩提寺である實相寺に奉納したそうです。

さらにこの燭台には、「暗闇の中でも灯りは誰の心にも隔てなく希望を与えるものだ」と考えた保己一が、「明るさ」への思いを込めたとも言われています。

このたび、この燭台を特別展示することとなりました。

※月曜日休館（休日の場合は翌日）
開催期間 令和4年3月31日(木)まで

会場 塙保己一記念館（アスパピア こだま内）

★文化財保護課 ☎ 25・1186



▲検校塙保己一奉納燭台（實相寺所蔵）

塙保己一がお出迎え

道路を走っている際、都道府県や市町村をまたがるときに出ている看板。これらは通称『カントリーサイン』と呼ばれています。

このたび、関越自動車道下り線の老朽化したカントリーサインが生まれ変わりました。新たに塙保己一の肖像画を忠実に再現したデザインで本庄市に入ったことをお知らせしています。



▲安全運転を！

●巾着(きんちゃく)

保己一が生涯大切にしていた、母手縫いの巾着。母きよが、自分の帯の生地で作ったもので、江戸に出るときには、中に23文を入れていったと言われています。



●お宝箱（おたからばこ）

保己一が江戸に出るときに着替えを入れて背負ったという素麺箱。後に林大学頭が大切なものだから「お宝箱」と命名しました。



塙保己一記念館の収蔵品をご紹介します

今回の連載「塙保己一の生涯」はいかがでしたか。ここでは、塙保己一ゆかりの品を紹介します。

※いずれも実物は、塙保己一記念館で常設展示しています。
★塙保己一記念館 ☎ 72・6032